

平成18年1月13日
食品安全委員会事務局

平成18年度における食品健康影響評価技術研究の研究課題の公募について

食品安全委員会では、科学を基本とする食品健康影響評価(リスク評価)の推進のため、平成17年度より、リスク評価ガイドライン、評価基準の開発に関する提案公募型の「食品健康影響評価技術研究」を実施しております。

つきましては、平成18年1月13日(金)から2月13日(月)まで、下記のとおり研究課題の募集を行うことと致しましたので、お知らせいたします。

なお、この公募は、平成18年度予算が成立した後に正式に確定するものですが、できるだけ早く委託研究を実施するために事前に公募を行うこととしているものです。このため、今後、変更等があり得ることをあらかじめご承知おき下さい。

記

1. 研究領域

別紙、「平成18年度食品健康影響評価技術研究の研究領域について」のとおり。

2. 応募資格

「食品健康影響評価技術研究応募要領」(平成18年1月食品安全委員会事務局長決定)に規定する条件を満たす以下の者

- ・研究機関に属する研究者

3. 募集期間

平成18年1月13日(金)から2月13日(月)(必着)まで

4. 研究課題の決定時期

4月上旬予定

応募書類につきましては、食品安全委員会のホームページの「食品健康影響評価技術研究応募要領(平成18年1月)」(<http://www.fsc.go.jp>)を御参照下さい。

【本件連絡先】

内閣府食品安全委員会事務局
情報・緊急時対応課 熊谷、川端
電話：03-5251-9182又は9186

平成18年度における食品健康影響評価技術研究の研究領域について

平成18年1月12日に開催された食品安全委員会第126回会合において、以下の5研究領域が決定されましたのでお知らせします。

化学物質系研究領域

化学物質の定量的毒性評価法に関する研究領域

食品中の単独あるいは同時に複数の化学物質による暴露に対する定量的な健康影響評価に資する研究を募集する。

(留意事項) MOE (Margin of Exposure)等の新たな指標も含め精密な暴露評価手法等の開発に資するものであること。または、乳幼児及び高齢者等のリスク高感受性グループへの健康影響の評価手法等の開発に資するものであること。

生物系研究領域

食品に起因するv C J Dのリスク評価のための効果的 B S E サーベイランス手法の開発に関する研究領域

食品に起因するv C J Dのリスク評価に資する効果的な B S E サーベイランス手法の開発に資する研究を募集する。

(留意事項) 疫学的・統計学的に、B S E を最も効率よく摘発するサーベイランス手法や B S E の感染数から v C J D の発生数を予測する手法等の開発に資するものであること。

食品に起因する病原微生物のリスク評価法に関する研究領域

食品に起因する病原微生物の効率的・効果的な健康影響評価に資する研究を募集する。

(留意事項) ノロウイルス、肝炎ウイルス、カンピロバクター、リステリア菌等、食品に起因する病原微生物による健康影響を効率的・効果的に評価する手法の開発に資するものであること。

新食品等研究領域

健康食品等の安全性評価法に関する研究領域

健康食品等の健康影響評価に資する研究を募集する。

（留意事項）新たに開発された食品素材及び従来 of 食品成分を濃縮する等により開発された食品素材の過剰摂取、長期摂取等による健康影響評価（乳幼児及び高齢者等のリスク高感受性グループの健康影響評価を含む）の評価指標の設定あるいは安全性評価法の開発に資する研究であること。

リスクコミュニケーション研究領域

リスクコミュニケーションの情報提示方法、言語表現等に関する研究領域

効率的かつ効果的なリスクコミュニケーションのための情報提示方法、言語表現等に資する研究を募集する。

（留意事項）リスクコミュニケーションを進める上で、使われる情報伝達メディアや表現方法によって、どのような意識変化及び行動変容が生じるか、また、関係者間において日本語等の表現がどのように認知されるか、等を明確にし、意見交換の実効性の観点から効果的かつ効率的なリスクコミュニケーションの実施に資するものであること。